

## 令和4年度 第6回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和5年3月17日（金） 9時00分～

場 所：湖西市役所防災センター2階

出席者：15人

会長	山家 裕史	湖西市 副市長
副会長	小倉 英昭	湖西市 都市整備部長
座長	杉木 直	豊橋技術科学大学 准教授
委員	諸井 宏司 (代理：前田 祐介)	遠州鉄道株式会社 運輸事業部長
委員	大久保 公雄	浜松バス株式会社 代表取締役社長
委員	榊原 正之	遠鉄タクシー株式会社 取締役運行営業部長
委員	有友 和浩	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	堀内 哲郎 (欠席)	(社)静岡県バス協会 専務理事
委員	原田 光一郎 (代理：竹内 大輝)	中部運輸局 静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	田中 友親	遠州鉄道 労働組合 副執行委員長
委員	仲野 弘己 (代理：長田 清孝)	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	高橋 成行	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	馬淵 邦禎 (代理：鈴木 恵太郎)	静岡県湖西警察署 通課長
委員	板倉 福男	湖西市自治会連合会 会長
委員	杉浦 徹衛 (欠席)	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	森 宣雄	湖西市社会福祉協議会 会長
委員	太田 英明	湖西市 産業部長
事務局	大隅 泰史	湖西市 都市整備部 都市計画課長
事務局	山本 真吾	湖西市 都市整備部 都市計画課 課長代理
事務局	小笠原 大悟	湖西市都市整備部 都市計画課 主査
事務局	榊原 徹	湖西市都市整備部 都市計画課 主任

資料No.	配付資料タイトル
1	令和4年度湖西市企業シャトル BaaS 実証事業について
2	地域公共交通確保維持改善事業の二次評価の結果について
3	令和5年度 湖西市地域公共交通会議予算書（案）
3-1	令和4年度 湖西市地域公共交通会議予算書
3-2	令和5年度 湖西市地域公共交通会議事業計画（案）
4	特別運賃割引（夏休み小学生 50 円バス）の実施について

## 1 開会

## 2 会長挨拶

本日は年度末の大変お忙しい中、令和4年度第6回湖西市地域公共交通会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。

私、本会議の会長を務めさせていただいております湖西市副市長の山家裕史でございます。

皆様におかれましては、日頃から市の公共交通行政に対しご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本日の会議内容でございますが、報告事項が2件、協議事項が2件ございます。

報告事項としまして、令和4年度湖西市企業シャトルBaaS実証実験についてなど、協議事項としましては、湖西市地域公共交通会議令和5年度の予算案及び事業計画についてや夏休み小学生1乗車50円バスの実施について説明させていただきます。

報告事項の令和4年度湖西市企業シャトルBaaS実証実験の実績ですが、前回からの会議でご報告させていただいております通り、今年度は本格運行に向けて、政策的な乗車のお誘いはしなかったことや料金の收受を行ったこともあり、利用者数が伸び悩みました。そのため、来年度以降も実証実験を継続し、まずは本当にBaaSを必要としている方、例えば免許返納者が多い地域や高齢者が集まるような施設など、潜在的なニーズの掘り起こしを行ったうえで、運行企業様と調整を行っていく予定です。また、乗車予約なしでの実験なども運行企業様と調整したうえで検討し、実証実験を行っていく中で本格運行を見極めていき、コーちゃんバス、コーちゃんタクシーと併せて、湖西市の公共交通を充実させていきたいと考えております。

本日は、是非とも忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。

本日はどうぞよろしく申し上げます。

## 3 報告事項

### (1) 令和4年度湖西市企業シャトルBaaS実証事業について

<事務局>

#### ● 資料説明（資料1）

<竹内氏>

- 来年度から予約なしでの実証実験を検討しているということだが、バス停でバスを待っている方の見落としがないようにすること等の運転手の負担が増えると考えられるため、運転手の負担をよく考慮した上で、運行協力企業と調整を進めてほしい。

<森委員>

- 25ページに記載のある「本当に必要としている方」とあるが、具体的にどういったことが必要か。

<事務局>

- 今年度何度も利用していただいた豊橋市の方は、スーパーへ買い物に行く等、普段の生活の移動手段として利用していただきました。BaaSの運行前は徒歩でパレマルシェや杏林堂薬局へ買い物していたということで、BaaSを継続してほしいと要望を受けております。このようなことから、バスがないと普段の生活に支障が出てしまう方や免許返納をして自分一人では移動が困難な方が主のターゲット層と考えており、この方たちが普段の生活の移動手段として利用しやすいサービ

スが必要だと考えております。

<森委員>

- 今の説明の中で、例えば日常生活の買い物のため、「歩いて買い物に行く」ということから「バスを利用して買い物に行く」へ変わる、自宅から目的地までの距離はおおよそどのくらいか。

<事務局>

- 距離についてはわかりかねるが、今年度何度も利用していただいた方は、BaaS 運行前は片道 40 分くらいかけて徒歩で買い物していたとのこと。答えになっていませんが、高齢者にとっては荷物を持って 10 分歩くことも大変だと思うため、このような方が利用しやすいものとなるよう運行協力企業と調整していきたい。

<森委員>

- 承知した。新所原駅付近でよく歩いて買い物に行く高齢者を見かけるため、徒歩からバス利用へどうしたら変化するのかという思いがあったため、質問させていただいた。

<座長>

- 一般的には 600～800m が歩くことができる上限と言われており、高齢者はもっと短いと思われる。また、「本当に必要としている方」という定義が難しいが、例えば、自分はまだ車を運転できると思っているが、その家族としては車の運転はやめて公共交通を利用してほしいと思っているような場合、その方は「本当に必要としている方」なのか。通常、このような方に自家用車から公共交通へ切り替えていただけるような公共交通政策を行っている。そのため、必要としている層をどう決めるのかといったこともしっかり考えていく必要がある。
- 運転手の負担の件について、予約なし運行を行った場合、BaaS として運行する全ての便を通常の企業の運行ルートではない延伸ルートで運行する必要があるため、この負担について考える必要がある。予約ありの場合、予約があるときだけデマンド運行すればよい。予約なしの場合は、BaaS の利用サービスを向上させることが利用者を増やすことにつながると定義することになると思う。毎回運行しなくてはいけないのであれば、これ以上利用サービスを向上することができない。そうすると利用は進まないというような悪循環にならないか少し心配している。予約なしで普通のバスと同じ感覚で乗車したいという利用者の希望はわかるが、予約の必要性をしっかりと理解して、自分で予約をして乗車する体験をした上で、それでも予約に抵抗あるのかという検証も必要に感じる。また、70～80 代の方のスマホ利用が低いということであるが、今の 60 代の方はスマホ利用ができる方が多くなっているため、長期的に考えたときに予約システムの必要性についてはかなり慎重に考えるべきだと思っている。

## (2) 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

<事務局>

- 資料説明（資料 2）

<竹内氏>

- 評価にあった通り、今後もコーちゃんバスやコーちゃんタクシーについて、地区別の利用実態を分析し、路線の再編を行うということや、BaaS については、地域住民への周知や市内商業施設との連携、豊橋市への延伸等の取り組みを継続的に行い本格運行につなげていくことで、来年度以降も地域公共交通の最適化を図るようにしてもらいたい。

## 4 協議事項

### (1) 湖西市地域公共交通会議令和5年度の予算案及び事業計画について

<事務局>

- 資料説明（資料3）

<座長>

- 歳出の事業費の項目に地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金が入るのか。

<事務局>

- こちらに関しては、歳入の国庫補助金が公共交通会議から運行事業者へ支払う運行経費の一部となっております。

<座長>

- 協議事項（1）「湖西市地域公共交通会議令和5年度の予算案及び事業計画について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

### (2) 特別運賃割引（夏休み小学生1乗車50円バス）の実施について

<事務局>

- 資料説明（資料4）

<大久保委員>

- 小学生にバスを知ってもらい、一度乗ってもらうということが大切となるため、乗務員も含め周知の協力をしていきたいと思っている。

<座長>

- 協議事項（2）「特別運賃割引（夏休み小学生1乗車50円バス）の実施について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

## 6 その他

特になし

## 7 閉会

<事務局>

- 以上をもって、令和4年度第6回湖西市地域公共交通会議を終了とします。

以上